

身近なことから地球に優しく

6月は環境月間

6月5日(火)は環境の日。6月は環境月間です。わたしたちは日常生活で環境にさまざまな負担を与えています。地球温暖化をはじめとした環境問題を解決するために、ライフスタイルを見直し、環境に優しい生活を心掛けましょう。

問い合わせは環境課 ☎890-6292へ。



幼稚園や小中学校ではグリーンカーテンに取り組んでいます



6月24日に野鳥の観察会

利根川中州に営巣しているコアジサシなどの野鳥について、説明を聞きながら観察します。コアジサシは環境省の「絶滅の危険が増大している種」に分類される小型の夏鳥。観察を通じ、自然環境について考えましょう。

日時 = 6月24日(日)午前8時~11時

集合場所 = 敷島浄水場

対象 = 一般、先着40人

用意する物 = 筆記用具、雨具、双眼鏡(持っている人)

申し込み = 環境課 ☎890-6292へ

グリーン購入進めよう

買い物のときにまず必要かどうか考えて、できるだけ環境に優しい物を選ぶことを「グリーン購入」といいます。買い物は、次の点に気を付け、少しずつ地球に優しい生活を始めましょう。

食材 環境に負担が掛からない「旬」の食材を選びましょう。おいしくて栄養も豊富。また、買い物のときにはメモを用意して無駄な物を買わず、包装のない、または少ない物を選んでゴミを減らしましょう。

文具 再生紙を使用したノートや、消耗品を補充して繰り返し使える物を選びましょう。

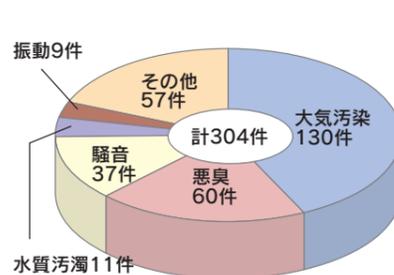
家電 冷蔵庫やエアコンなど家電製品の購入は省エネ度の高い物を。価格は高くとも電気代を考えるとお得です。

近隣に配慮した生活を

昨年度に寄せられた公害苦情は304件。初めて年間300件を超えました。中でも焼却の苦情を含む大気汚染は大きな割合を占めています。原則としてゴミ焼却は法律と県条例で禁止されています。家庭から出るゴミは分別して決められた日の午前8時までに集積所へ出してください。

また、グラフのとおり騒音や悪臭に対する苦情の割合も多くなっています。普段から近隣に配慮した生活を心掛けましょう。

昨年度に受けた公害苦情件数



家庭でできることから

大気中の二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガス量が増え、地球が暖まる現象を地球温暖化といいます。

温暖化が進むと、異常気象の増加、海面上昇による砂浜の減少、生物種の減少、農作物への影響などがあるといわれています。温暖化を防ぐためには、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会システムを見直し、省エネ型のライフスタイルへ転換しながら温室効果ガスを減らしていかなければなりません。

わたしたち一人一人が、電気や水を節約しゴミを減らしていくことが温暖化防止への第一歩。環境を守るため、家庭や職場でできることから取り組みましょう。

◇冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定する

年間約33kgのCO₂削減、年間約1,800円の節約

◇1日5分のアイドリングストップを行う

年間約39kgのCO₂削減、年間約1,900円の節約

◇シャワーを1日1分家族全員が減らす

年間約69kgのCO₂削減、年間約7,100円の節約

◇待機電力を50%削減する

年間約60kgのCO₂削減、年間約3,400円の節約

出典)全国地球温暖化防止活動推進センターホームページより

エコドライブ心掛けて

自動車から排出されるCO₂は地球温暖化の原因となるほか、窒素酸化物などは大気汚染の主な原因にも。次の点に気を付けて運転しましょう。

■ふんわりアクセルスタート

普通の発進より少し緩やかに発進するだけで11%程度燃費が改善。ゆったりとした気分で運転しましょう。

■停止中のアイドリングストップ

荷物の積み降ろしや待ち合わせなど、短い時間の停車でもエンジンを切りましょう。10分間アイドリングを停止すると約130cc程度の燃料が節約できます。

■不要な荷物は降ろす

車の重量が増えると、燃費が悪くなります。10kgの荷物を積むと、約0.3%燃費が悪化します。

